

# 胆嚢ポリープについて

相澤病院 肝胆膵外科統括医長  
高 賢樹

日常診療のなかで、胆嚢にポリープが見つかったとき、どのように判断・診断・治療をすすめていけばよいのか悩むことがあります。そのようなときに役立つ情報をまとめてみましたので、診察の際の一助になれば幸いです。特に重要なことは、悪性の所見を見落とさないことです。判断に迷う患者さんがおられましたら、お気軽にご紹介、ご相談いただければ幸いです。

相澤病院地域医療連携室 代表 TEL:0263-33-8600



## <胆嚢ポリープの定義>

胆嚢ポリープとは 20mm 程度までの胆嚢の限局性小隆起性病変の総称であり、良悪性を問わず、様々な病変を含みます。(本来、内視鏡ではポリープは立ち上がり明瞭な限局性隆起病変を指しますが、胆嚢の場合は US などで評価するため、立ち上がりが明瞭でなくともポリープと呼ぶことが多い)

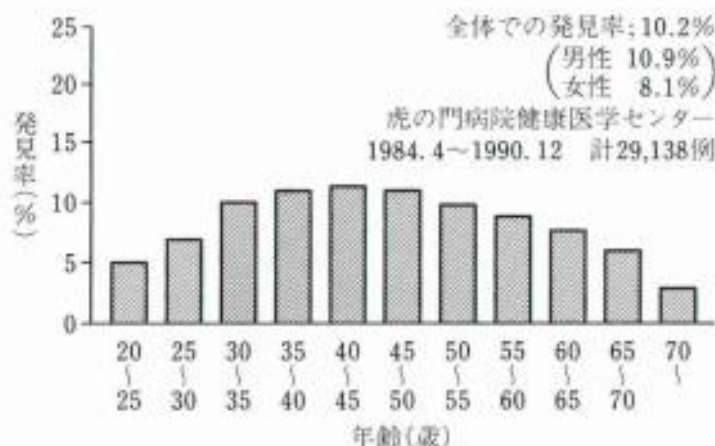
図1 胆嚢ポリープの形状



## <頻度>

健常人における、胆嚢ポリープの発見頻度は 5~10%程度 (US が有用)

表 1 胆嚢ポリープの発見率



## <ポリープを見つけたときの考え方>

① ポリープは、非腫瘍性ポリープと腫瘍性ポリープに分けて考えます

### 【非腫瘍性ポリープ】

- ・コレステロールポリープ
- ・炎症性ポリープ
- ・線維性ポリープ

※ AFIP (Armed Forces Institute of Pathology) 分類

WHO 分類では非腫瘍性ポリープの分類はないため、それに並んで広く用いられている分類

### 【腫瘍性ポリープ】

- ・幽門腺腺腫 Pylogic gland adenoma
  - ・Intracystic papillary neoplasms (ICPN)
    - ICPN with low-grade intraepithelial neoplasia (いわゆるポリープ型腺腫)
    - ICPN with high-grade intraepithelial neoplasia (いわゆるポリープ型上皮内癌)
    - ICPN with associated invasive carcinoma (いわゆるポリープ型腺癌)
- ※ WHO2019 分類より

② 胆嚢ポリープの 95%はコレステロールポリープです

③ 悪性を疑う所見は？ → 以下の場合には悪性の可能性があり、精密検査が必要です

- ・**大きさ 10mm 以上**
- ・**大きさにかかわらず広基性**
- ・**画像上増大傾向を認める場合**

※胆道癌診療ガイドライン 第3版より

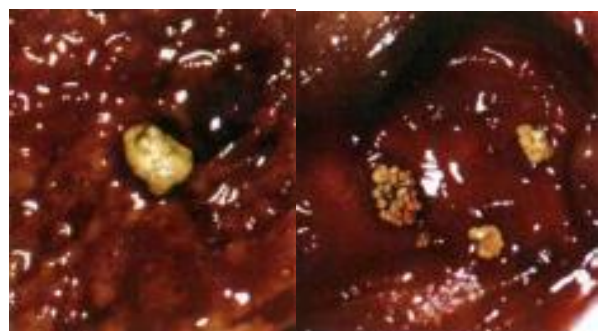
## <95%を占めるコレステロールポリープの特徴>

- ・多発
- ・小さいものが多い数 mm では球形、大きくなると桑実状で細い茎を持つ Ip 型を呈する
- ・10mm 以上になると、半数近くに拍動性血流がみられる
- ・11mm を超えると過形成や腺腫の合併を認めることがある
- ・血性脂質値との相関はないと言われている

図2 コレステロールポリープの典型像



US 像: 多発であることが多い



肉眼像: 粒状もしくは多粒子構造を呈する

## <みつかったらどうするか>

- ① 10mm 以上は悪性の可能性があり、精密検査(EUS など)が必要になります →ご紹介お願いします
- ② 10mm 未満の場合は、経過観察(半年おき US など)
  - 増大傾向があれば、精密検査へ(増大を示すのは1~10%程度)
  - 増大を認めない場合、フォローをいつまでするのか、明確な基準はありません
  - 目安としては2年程度、増大がなければ、ほぼ大丈夫と思われま

※ 参考に、胆道癌診療ガイドライン第3版では、「6mm以下のポリープの経過観察は、医療経済上も不利益であり不要とされている」と記載されています

## <おまけの知識 Q&A>

Q : ポリープと胆石は関係あるのか？

A : 現状では、関連はないといわれています。

Q : ICPN (Intracystic papillary neoplasms ) って何？

A : 近年、膵管・胆管・胆嚢内で肉眼的に乳頭状を示す良悪性境界病変が、病理学的に区別されるようになってきています。それぞれ膵ではIPMN(intraductal papillary mucinous neoplasm:膵管内乳頭粘液性腫瘍)、胆管ではIPNB(intraductal papillary neoplasm of bile duct:胆管内乳頭状腫瘍)、胆嚢ではICPN (intracholecystic papillary neoplasm:胆嚢内乳頭状腫瘍)といわれており、病理学的に類似がみられません。

良悪性境界病変であり、悪性のグレードにより low-grade(異型に相当)、high-grade(前癌病変に相当)、invasive carcinoma(癌)に分けられています。

Q : コレステロールポリープ以外の非腫瘍性ポリープってどんなものがあるの？

A : 非腫瘍性ポリープのおおまかな種類を下に示します。

ただし、非腫瘍性ポリープの分類は様々な分類があり、癌取り扱い規約のような統一したものはありません。これは非腫瘍性ポリープの場合、その種類により治療方針が変わらないためだと思われます。

したがって、これらの違いを診察時に意識する必要はありません。

### 【炎症性ポリープ】

- ・肉芽組織性ポリープ
- ・リンパ濾胞性ポリープ
- ・化生性ポリープ etc

### 【線維性ポリープ】

- ・線維性ポリープ
- ・線維上皮性ポリープ

相澤病院肝胆膵外科 統括医長 高 賢樹 平成8年北海道大学医学部卒

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、日本胆道学会指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科)、臨床修練指導医・医学博士